

第2回 佐伯市廃棄物減量等推進審議会議事録（抄録）

開催日時 令和8年10月1日（木） 10:00～11:35
開催場所 所在地 佐伯市東浜1番38号
会場名 エコセンター番匠 2階大会議室
出席者 委員14名のうち、11名出席（欠席：3名）
野崎部長、浜矢課長、吉岡補佐、羽明補佐、實戸総括、栗津総括、増井、三浦、林
傍聴者 0名（マスコミ関係者0名）

- 1 開会 市民生活部長による開会あいさつ
- 2 委嘱状交付 後任委員の代表として、佐藤委員へ委嘱状を交付
- 3 会長あいさつ 宮崎会長によるあいさつ
- 4 自己紹介 審議会委員及び清掃課職員
- 5 議事 宮崎会長が議長となり進行した。

(1) 過去の経緯

過去の審議会の開催内容などについて、事務局が説明を行った。

（説明に対する意見等なし）

(2) 現状と課題

現状を説明したのち、今後整理すべき課題として、①ごみ処理手数料の見直し、②ごみ処理施設の将来方針について、事務局が説明を行った。

〔各委員からの質問や意見〕

- ・委員「②の将来方針の選択肢の中で、事務局として考えている方針はあるのか。」

（事務局：大分広域の新施設に佐伯市の処理量が入っていないため、現時点では受入できない。

現施設の悪い部分を保全しながら長く使っていく方針で、長寿命化以降の整備方針は決めている。今後調査検討していく。）

- ・委員「ランニングコスト的には広域圏に入るのがメリットがあるのではないか。」

（事務局：広域圏に加入する場合、分別方法なども違うため、市民周知に時間がかかることも想定される。そういった面も含めて将来的な選択肢を検討していきたい。）

- ・委員「災害廃棄物を広域でする場合はなかなか大変ではと感じる。佐伯市で独自処理することも考えておくべきではないか。」

（事務局：現実問題として災害廃棄物の仮置き場も公有地では確保が厳しい状態である。今年度は災害廃棄物処理計画の改訂作業を行っており、その中でも検討している状況。）

- ・委員「①の手数料で販売店申告方式だと市のメリットがあるが、具体的な取組は進んでいるのか。」

（事務局：手数料については条例改正が必要だが、具体的な動きはまだ進んでいない、事務局案のイメージとしてとらえて頂きたい。）

(3) その他

エコセンター番匠の営業日の見直しイメージについて、事務局が説明を行った。

〔各委員からの質問や意見〕

- ・委員「持込みの際、朝の時間帯は多いのか？」

→（事務局：開門前に数台並ぶことがある。11時頃、14時頃16時頃に並ぶことがある。）

- ・委員「土曜日の搬入台数は多いのか？少ないのであれば賛成できる。」

→（事務局：約20年前は台数が少なく計量受付も2人で対応できていたが、ここ数年は平日並み

に 200 台以上来ており、計量受付に 4 人以上必要な状況。しかし、家庭持込みも少量 1 から 2 袋の車両も多く、定期収集で対応可能なものが多く来ているのが現状。)

- ・委員「事務系の事業所は月～金にごみが多く、飲食業やスーパーなどの事業所は、週末にごみが多く出る傾向があるため、事業系許可業者としては、土曜日の持込みがなくなると業務に支障が出る恐れがある。」

→(事務局：登録された許可業者のみ土曜受入するなども検討していきたい。)

4 その他（事務連絡等）

次回の開催は、資料準備が整えば、1～2月に開催したい。

5 閉会 市民生活部長による閉会あいさつ